

# DPCコードとツリー(樹形)図

14桁のDPCコードは、MDC（右記Q&A参照）及び傷病名の6桁コードと、さまざまな定義に基づいて患者ごとに決定します。このDPCコードを決定する際に用いるのが、ツリー（樹形）図です。ツリー図は下図のような仕組みになっており、手術の「あり」「なし」など、分岐点の項目を選択していくことで、最終的に右端の14桁のDPCコードを決定します。実際の算定の際には、ツリー図以外に『診断群分類点数表』や『定義テーブル』も使います。

2018年度のDPCコード総数は4,955ありますが、実線で囲まれた4,296のコード（診断群分類点数表に定める診断群分類番号）が包括評価に該当し、残りの点線で囲まれたコードは、医科点数表に基づいて出来高で算定します。出来高となるコード（医科点数表算定コード）は、退院患者データの症例数が少ないか、データのバラつきが大き過ぎて包括評価に適さないものです。

なお、診断群分類の精緻化を図りつつ、診断群分類数の増加を防ぐ目的から、脳梗塞、肺炎、糖尿病の3疾患には、重症度を考慮した評価手法であるCCPマトリックスが導入されています。CCPマトリックスを導入した分類は、複数の分類が同一の支払分類となるため、包括評価は4,296分類ですが、支払分類数は2,462となっています。

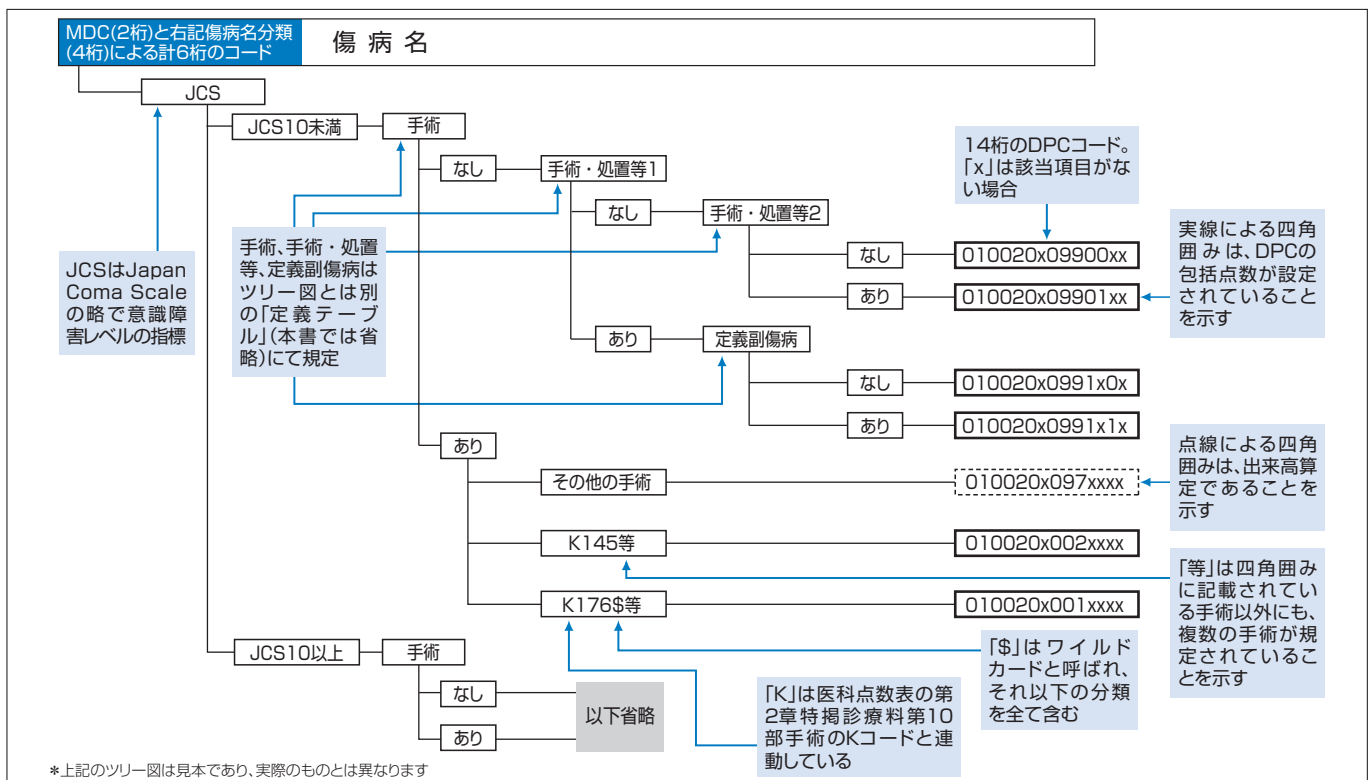
**Q**

診断群分類で用いられているMDCとは？

**A**

主要診断群 (Major Diagnostic Category) の略で、現在のDPCでは次の18群に分類されています。

- MDC01：神経系疾患
- MDC02：眼科系疾患
- MDC03：耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04：呼吸器系疾患
- MDC05：循環器系疾患
- MDC06：消化器系疾患、肝臓・胆道・脾臓疾患
- MDC07：筋骨格系疾患
- MDC08：皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09：乳房の疾患
- MDC10：内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11：腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
- MDC12：女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13：血液・造血管・免疫臓器の疾患
- MDC14：新生児疾患、先天性奇形
- MDC15：小児疾患
- MDC16：外傷・熱傷・中毒
- MDC17：精神疾患
- MDC18：その他



【関節リウマチのツリー図】

